

【目次】 P1…会長挨拶	P2…総会報告	P3…組織図、役員一覧	P4…各局・部の紹介	P6 参加報告
P8…ちょっといい話、てっ!!	P9…ふるさと紹介	P10…病院紹介、アンケート	P11…病院施設一覧	

## 新年度の挨拶

会長 内山 量史

平成 25 年 5 月 10 日（金）に開催された定期総会には会員 139 名の内、130 名（当日出席 92 名、委任状 38 名）が出席されました。総会の単独開催でありながら、多くの会員に出席していただき理事会を代表して感謝申し上げます。

定期総会では、理事会より提案させていただいた全ての議案に対して承認をいただきありがとうございました。

当会は発足してからこれまで全員相互の連携と協力によって、「きこえ」「ことば」「高次脳機能」「嚥下」に障害を抱えた方々を支え、言語聴覚療法および摂食機能療法の発展に寄与するために様々な活動を続けてきました。その結果、学術活動をはじめ広報活動や職能活動は他県でも例のないほど充実した活動が展開できるまでに至りました。しかし、山梨県内の医療・介護・福祉・教育領域等に十分に言語聴覚士が配置されているとは言い難い状況であり、地域格差もいまだに解決されていない現状です。この大きな課題を解決していくためにも、会員個人や所属施設の努力はもちろんのこと、山梨県言語聴覚士会の組織体制と活動を充実させる必要があります。

また、一般社団法人山梨県理学療法士会や一般社団法人山梨県作業療法士会との合同学術大会の開催、災害対策、訪問リハビリテーション協議会の運営をはじめ、諸団体との合同事業や県の事業への参画も増加する中で当会の果たすべき役割や責任も大きくなりつつあります。しかしながら、当会は任意の集まりであり、「権利能力なき社団」と呼ばれ法的にも存在しない団体に位置づけられます。このような団体が充実した活動を展開しても外部からの社会的信用は低くなります。

このような状態を打破し、法的にも社会的にも認められる組織にするとともに、より大きな社会的役割を果たす組織へと発展させていくためにも任意団体としての活動を改め、一般社団法人へ移行します。

平成 26 年の春には生まれ変わった新たな団体としてスタートを切ります。今年度はそのための準備期間として、法人格取得に必要な定款の作成と登記、予算と各局の活動の整合性の確認、これまで以上に厳密な会計処理などを事業の一環として取り組んでいきます。

当会の活動は成熟し、さらに新たな「進化」に向けて歩み始めました。このような歩みが続くのも会員皆様の努力の賜物であると理解しています。この歩みが確実な一歩となるよう会員の皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。



## 平成 25 年度山梨県言語聴覚士会 定期総会報告

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 河西 祐子

平成 25 年度山梨県言語聴覚士会定期総会が、平成 25 年 5 月 10 日（金）午後 6 時 30 分より、大木記念ホールにおいて開催された。

司会の赤池三紀子副会長より、会員総数は 139 名（内、新入会員 19 名）、出席者総数 130 名（会場出席者 92 名、委任状 38 名）で、定数を満たしており、総会は成立することが報告された。

議長に飯塚周子先生が選出され、議案の審議に入った。

第 1 号議案の平成 24 年度活動報告に関する件では、事務局、学術局、広報局、社会局の各局長より活動内容が報告された。また、学術大会実行委員長より、第 5 回学術大会の報告がなされた。続いて、第 2 号議案の平成 24 年度会計報告に関する件では、財務部小池京子部長より会計報告がなされ、監事の保坂みさ先生より会計監査報告が行なわれた。第 1 号議案、第 2 号議案共に採決の結果、賛成多数で承認された。

その後、第 3 号議案の一般社団法人取得に関する件、第 4 号議案の会則（第 7 条：会費）の変更に関する件では、一般社団法人取得の意義や会費変更の必要性について内山量史会長より説明がなされ、両議案共に賛成多数で承認された。

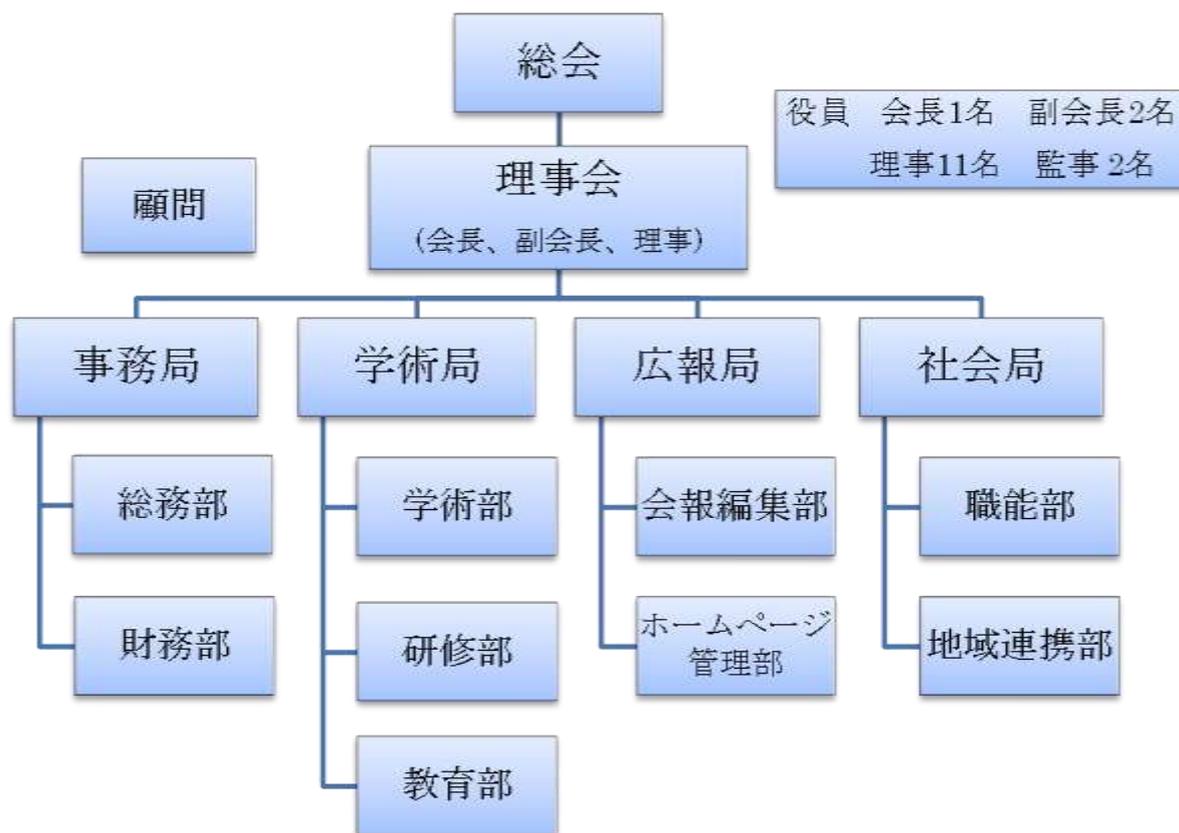
第 5 号議案の平成 25 年度活動計画案に関する件では、各局長より各部の部長・副部長・部員の紹介、並びに活動計画案について説明された。また、第 6 回学術大会実行委員長より、大会長の紹介・開催日について報告された。第 6 号議案では、平成 25 年度の予算案が財務部小池京子部長より提出された。第 5 号議案、第 6 号議案共に賛成多数で承認された。

以上、理事会で提案した議案はすべて承認され、議長の職務は終了となった。

最後に内山会長より、一般社団法人化、会費変更に関してご理解をいただいたことへのお礼と、さらに充実した県士会活動を展開していくために会員の皆様に、より一層のご協力をお願いしたい旨の挨拶があり、総会は閉会した。



<山梨県言語聴覚士会 組織図>



<平成25年度 山梨県言語聴覚士会 役員>

会 長	内山 量史	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院	
副会長	赤池 三紀子	湯村温泉病院	
副会長	中村 晴江	甲府城南病院	
理 事	赤池 洋	山梨大学医学部附属病院	
	石原 徳子	甲州リハビリテーション病院	
	和泉 裕二	甲府共立病院	
	河西 祐子	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院	
	金子 正子	今村耳鼻咽喉科めまい・難聴クリニック	
	小池 京子	国立病院機構甲府病院	
	小室 理恵子	甲府城南病院	
	高橋 正和	石和温泉病院	
	藤巻 千春	竜王リハビリテーション病院	
	望月 真由美	石和共立病院	
	大和 さわか	健康科学大学リハビリテーションクリニック	
			以上 14 名
	監 事	深沢 有里	石和温泉病院
		保坂 みさ	あけぼの支援学校
顧 問	保坂 敏男	山梨リハビリテーション病院	

第 5 回学術大会

大会長	河西 祐子	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
実行委員長	中村 晴江	甲府城南病院

## 各局・部の紹介

**事務局** ≪局長≫ 河西 祐子 (春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

<総務部> 部長：河西 祐子 (春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

<財務部> 部長：小池 京子 (国立病院機構甲府病院)

総務部では定期総会や理事会の開催、各部局や日本言語聴覚士協会・県内他団体からの各種お知らせの送信、会員情報の管理等を行っています。今年度は一般社団法人取得にあたり、定款の登記に関わる作業にも携わっていきます。財務部では会費の徴収、財務管理を行っています。県士会事業の拡大に伴い、会費が6,000円に変更となりました。会員の皆様には趣旨をご理解いただき、会費の納入にご協力をお願いいたします。

### ●財務部からのお知らせ

#### ☆年会費納入のお願い

県士会活動は、皆様の会費によって支えられています。今年度の会費納入がお済みでない方は、財務部小池部長(国立甲府病院)まで直接お届けいただくか、下記口座への振り込みをお願い致します。

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 606022
名称	山梨県言語聴覚士会 代表 内山量史

**学術局** ≪局長≫ 中村 晴江 (甲府城南病院)

<学術部> 部長：佐々木 蘭子 (春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

<研修部> 部長：大和 さわか (健康科学大学リハビリテーションクリニック)

<教育部> 部長：吉澤 由香 (甲府城南病院)

学術局は「学術部(学術講演会担当)」「研修部(症例検討会担当)」「教育部(新入会員研修会担当)」の3部体制で会員の生涯教育の啓発、臨床技術・学術的資質の向上を図るために、講演会・症例検討会・新卒者研修会などを開催しています。

私たち専門職は常に最良の結果を出すことが求められます。そのためには、向学心を持ち続け、経験を積み重ねることが不可欠となります。言語聴覚療法を必要とされている全ての方、山梨の言語聴覚療法の未来を支えていくためにも、自己研鑽への活用、臨床の場で発揮できるような知識・技術の『学びの場』を提供していきたいと考えております。

今年度も皆様のご協力・ご参加をお願いいたします。

**社会局** 《局長》赤池 三紀子（湯村温泉病院）

＜職能部＞ 部長：藤巻 千春（竜王リハビリテーション病院）

＜地域連携部＞ 部長：望月 真由美（石和共立病院）

社会局の活動は、医療・福祉・介護・教育への高まるニーズに合わせ年々拡大しています。職能部では、本年度は当士会が社会的責任を果たすべく、公的に認められるための一般社団法人取得に向け、ワーキンググループを立ち上げてスムーズな法人化を目指します。さらに3士会合同連携事業への参画も益々増加する見込みです。地域連携部では、言語聴覚士の専門的サービスを県の事業への協力も含めて展開していきます。具体的には、ねんりんピック・失語症者のつどい・小児のこたばの相談会など昨年同様、諸団体との連携や交流を深めたいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

**広報局** 《局長》石原 徳子（甲州リハビリテーション病院）

＜会報編集部＞ 部長：高橋 正和（石和温泉病院）

＜ホームページ管理部＞ 部長：赤池 洋（山梨大学医学部附属病院）

広報局では、会員だけではなく他団体にも「山梨県言語聴覚士会」の活動を知って頂き、一般の方々にも「言語聴覚士」を知って頂けるように、情報発信をしていきます。会報編集部では『山梨県言語聴覚士会 NEWS』を年3回発行し、新たな連載も企画中です。ホームページ管理部ではNEWSと連動したり、学術大会の特設ページやお薦めの情報・関連団体からの情報も更新していきます。会員の皆さまになじみのある局を目指していきます。原稿執筆等、ご協力をお願い致します。

●会報編集部からのお知らせ

山梨県言語聴覚士会 NEWS 第25号を平成25年2月に発行しました。

●ホームページ管理部からのお知らせ

会報 web 版、会員向けお薦め情報（会員推薦図書・ちょっと一息）を更新しました。トップページ写真を募集しております。会員の皆さま、ご家族様・患者様が撮影した写真がありましたら、ぜひご投稿下さい（担当:白根徳洲会病院 村上 薫先生）。

## 学会・研修会 参加報告

### 日本語聴覚士協会 基礎講座

甲府城南病院 小山 莉依

平成 25 年 2 月 14 日、大木記念ホールにて、日本語聴覚士協会による生涯プログラム基礎講座 3「職種間連携」、5「協会の役割と機構」が開講されました。

職種間連携では、地域・院内など色々な場面で行われるチーム医療の一員として、患者様・利用者様を中心に関係職種とお互いを理解し合うこと、“ほうれんそう”を徹底し互いが情報を“深く”共有することの重要性を改めて感じることができました。また日本語聴覚士協会の役割として、言語聴覚士という職業をより多くの方に知っていただく為の広報活動を行っており、最近ではドラマ「はつ恋」が話題になりました。加えて、学会・講習会が定期的開催され、私たちがより専門性を高めるためのプログラムが充実していることは、まだ臨床経験の浅い私には、とても心強く感じられました。より深い知識の習得・スキルの向上に努め、さらにチームの医療の中では、他職種との深い連携を図っていきたいと思います。

---

### 山梨県言語聴覚士会 学術講演会 小児の摂食・嚥下

巨摩共立病院 後藤 佑介

平成 25 年 3 月 27 日、第 3 回学術講演会に参加しました。講演会では秋山歯科医院の秋山賢一先生、あけぼの支援学校の保坂みさ先生から、「小児の摂食・嚥下」についてのお話をいただきました。

秋山先生の講演では口腔機能の発達、障害児に生じやすい摂食の問題などを実際のエピソードを交えて教えていただきました。保坂先生の講演では、実際の摂食指導場面の映像を見せていただきながら、間接嚥下訓練の方法、オーラルコントロールの方法を具体的にわかりやすく教えていただきました。

今回の講演を聞いて、保護者への指導や、日々のオーラルコントロールを行う事で摂食方法の誤学習を防ぐことや、口腔機能の発達を促すことが可能であり、今後の臨床の中で適切な関わりを行う上で大切なことを学ぶことが出来ました。また、言語聴覚士として摂食・嚥下の領域に関わることは、栄養摂取としての摂食・嚥下だけでなく、プレスピーチ、コミュニケーションという部分を大切にして関わっていくことの必要性を感じました。

## 山梨県作業療法士会災害対策準備委員会研修会 「災害医療」

湯村温泉病院 池神 多加子

平成 25 年 3 月 4 日、甲府市総合市民会館において山梨県作業療法士会災害対策準備委員会研修会が開かれました。甚大な被害をもたらした東日本大震災発生から 2 年、「もしあのような大地震がこの山梨で起きたとしたら…」と考えると、関心の高いテーマでした。

今回は、日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センターの松田潔先生と山梨県立中央病院救命救急センターの岩瀬史明先生より、山梨県の救急診療体制や災害時にリハビリテーション病院や医療従事者に求められるものという内容で貴重なお話を聞かせていただきました。その中で、災害時派遣医療チーム（山梨 DMAT）やドクターヘリの活動状況、広域災害救急医療情報システム（EMIS）の体制作りが行われていること等を知ることが出来ました。

参加させていただき、通常行っているリハ医療をどの様にしたら災害時にも提供できるかということが大きな課題であると感じました。同時に、日頃から各病院が必要な備蓄や設備の準備を進め、お互いをサポートできる EMIS を十分に機能させる体制の拡充も望まれます。私達言語聴覚士も臨機応変な対応が出来るよう理学療法・作業療法分野にも知識を広げることが必要であり、災害時には患者さんの心身の痛みに寄り添い、生きることへ希望を繋げていくことが大切だと思います。言語聴覚士として心の細やかさや精神力の強さを日々の臨床で養っていきたいと思います。

---

## 山梨県リハビリテーション病院施設協議会 講演会 「リハビリテーションと栄養」

甲州リハビリテーション病院 小俣 健太郎

平成 25 年 3 月 16 日に山梨県リハビリテーション病院施設協議会の講演会がありました。講演は「リハビリテーションと栄養」と題し行われ、コメディカルのスタッフに栄養について学んでもらうことを意図して企画されたこともあり、内容は幅広いものでしたが基本的な内容でしたので私のような初学者でもよく理解できました。

栄養状態が不良のために筋肉量や筋力の低下している人に対して、積極的にリハビリを行うことは、かえって悪い影響を与えてしまうことは容易に想像できます。しかし実際のリハビリでは、栄養状態が不良の高齢者の方に対し廃用症候群として積極的にリハビリを行っている人がいるのではないかと講師の先生が指摘されており、患者さんの栄養状態など全身状態をしっかりと把握してリハビリを行う必要があると再認識しました。特に摂食・嚥下障害のリハビリを行う言語聴覚士は、患者さんの栄養状態を考える時にチームの中で重要な役割があると改めて感じました。

# ～ちよつといい話～

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 佐々木 蘭子

毎年、夏の終わりに一通のはがきが届きます。それは以前、入院されていた患者さんが送ってくるもの。内容はいつも決まって“お誕生日、おめでとう”。この温かいことばに何度、励まされたことでしょうか。働き始めるとあっという間に過ぎていく一年。経験年数だけが積み重なり、知識も技術も追いつかない毎日の中で患者さんからのことばが一番の宝物であり、気持ちを奮い立たせてくれます。

日々の臨床の中で私たちは多くの出会いがあります。そしてその出会いからたくさんのことを教えていただいているのだと気付かされます。また、言語聴覚士という仕事の楽しさをも感じることができるのです。

これからも立ち止まったり、躓いたりいろんなことが起こるでしょう。そんなときはいただいた宝物を手に笑顔で一步前に踏み出し、よりよいサービスの提供ができるよう今後も努力していきたいと思います。

## てっ!! 行ってみるじゃん

～笛吹市 八田家書院～

\*甲州弁で  
【てっ】驚いた様子  
【行ってみるじゃん】行ってみよう

みなさん八田家書院をご存知ですか？石和温泉の旅館街から少し離れた閑静な住宅街の中にあります。

書院とは儀式や接客に用いた座敷の事を言います。八田家は武田家の蔵前奉行として仕え、武田家の滅亡後は徳川家の配下となり現在まで続く名家です。八田書院は慶長 8 年（1601 年）に建築され、桃山時代末期の武家書院様式でよく当時の格調を保存しているとの理由で山梨県指定文化財となっている歴史的な建物です。



立派な表門に惹かれて門をくぐると土壁・萱葺き屋根書院と荘厳な庭園があります。併設されている御朱印公園は桃、紫陽花などが植えられ一年中季節毎に様々な表情が見られます。私の一番のお勧めは紅葉が見事な秋ですが、これからの季節も紫陽花や菖蒲の花などが咲く良い季節です。日常から離れホッと一息つきたい、そんな時にお勧めの場所です。（文責 坂井 隆一）

# ふるさと紹介

## ～甲州市～

一宮温泉病院 平山 麻早美



私の住んでいる「甲州市塩山」は、戦国武将武田信玄公が信仰の中心地として崇めた地であるそうです。そのため武田家縁の社寺仏閣が多く存在します。その中でも信玄公の菩提寺である恵林寺は、私にとって思い出のある場所です。中学校時代、信玄公の命日には授業が休みとなり信玄公について学んだ後、信玄公忌に参加しました。夏休みには境内や本堂の清掃を手伝った後座禅を体験する、という学校行事がありました。恵林寺の裏にある放光寺では、NHK大河ドラマ「武

田信玄」原作者の妻である藤原てい氏を招いた特別授業もありました。

武田家縁以外にも、樋口一葉の文学碑やイトザクラで知られる慈雲寺、国宝「絹本著色達磨図」を所蔵している向嶽寺など、社寺仏閣が多くある地域です。春はえんざん桃源郷からの眺望、夏はフルーツ狩り、秋は大菩薩の紅葉、冬は陣中食として奨励された「ころ柿」が軒先に連なる様子がみられます。塩山にお出かけの際は『ちょっと、よってけし』

## ～甲府市～

甲州リハビリテーション病院 浅川 裕斗

甲府は良い所がたくさんあります。「県立美術館」や「昇仙峡」、「武田神社」など、芸術や自然、歴史など様々な事を楽しむことができます。また、B級グルメで有名になった「鳥もつ」や「ほうとう」「信玄餅」など、美味しい食べ物もたくさんあります。

私がお勧めする所は、『山梨県立科学館から見る夜景』です。夜は人も少なく、静かに夜景を眺める事が出来ます。また、目の前に木などの視線を遮るものがないため、甲府盆地の夜景を一望できます。また、信号の点滅や、電車が通っているのを見る事ができ、何だかとても懐かしい気持ちになり、心が落ち着きます。

もう一つ私が好きな所は、『荒川沿いの土手』です。春には桜、秋には紅葉と、季節を感じる事が出来て、歩いていてとても気持ちが良いです。また、他にも散歩している方がいらっしやるので、挨拶や少しお話をする機会があります。この様な事は都会では無い、田舎ならではのとても良い所だと私は思います。皆さん是非、田舎の甲府を楽しんでみて下さい。



## 病院紹介

### 山梨大学医学部附属病院



当院は県内唯一の特定機能病院として、地域の中核的医療及び高度医療を担っています(27 診療科、606 床)。言語聴覚士は常勤 3 名(耳鼻科 1 名、リハ部 2 名)、非常勤 1 名(耳鼻科)が在籍し、昨年までの摂食・嚥下障害や成人人工内耳、小児難聴、シャント発声、音声障害等に加え、今年度より高次脳機能障害や失語症、構音障害と多岐にわたりリハビリテーションや個別支援を行っています。

当院の特色として、摂食・嚥下障害が疑われた際には全診療科より耳鼻科に評価依頼が出され、言語

聴覚士立ち会いのもと耳鼻科医師、看護師と共に内視鏡下にて器質的疾患の有無や嚥下機能評価を行っています。個別の症例に対し定期的にカンファレンスを行い、大学病院の中で診療科を超えたチーム医療を実践しています。(写真は構成メンバー)

(文責 前田 恭子)

## 職域に関するアンケート結果について

平成 24 年度、山梨県の言語聴覚士の数は 130 名を超えました。また、平成 24 年 4 月には医療保険、介護保険の同時改定が行われました。今回、山梨県言語聴覚士会ではこの改定にあわせ、県内の言語聴覚士の現状について勤務体系や日々の臨床の内容等様々な観点から、医療・介護・福祉・教育の各分野において調査を実施しました。言語聴覚士数の増加や制度の変更に伴い、業務にどのような変化や影響があるのかを把握し、県士会の更なる発展に結びつけていきたいと考えています。また、今回の調査が私達の日々の臨床を振り返る機会になり、臨床経験の浅い言語聴覚士にとっては自分の所属する施設の施設基準、病床数等を改めて知る機会になったのではないかと思います。

今回得られた情報は山梨県における医療・介護・福祉・教育の各分野の言語聴覚士の業務の課題について検討していく資料となり、各領域の発展と充実につながると考えています。調査結果は、山梨県言語聴覚士会のホームページに掲載されます。是非、ご覧下さい。会員の皆様には大変お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

(文責 社会局 赤池、藤巻、元木)

# 平成 25 年度山梨県言語聴覚士会 会員所属病院・施設一覧

平成 25 年 6 月現在

## 医療・福祉関係(27 施設)

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
あけぼの医療福祉センター 療法科	407-0046 韮崎市旭町 上条南割 3251-1	Tel (0551)22-6111 Fax (0551)22-7890	巨摩共立病院 リハビリテーション室	400-0301 南アルプス市桃園 340	Tel (055)283-3131 Fax (055)282-5614
石和温泉病院 言語聴覚室	406-0023 笛吹市石和町八田 330-5	Tel (055)263-0111 Fax (055)263-0260	白根徳洲会病院	400-0213 南アルプス市西野 2294-2	Tel (055)284-7711 Fax (055)284-7721
石和共立病院 入院リハ室／在宅リハ室 ／小児リハ室	406-0035 笛吹市石和町広瀬 623	Tel (055)263-3131 Fax (055)263-3136	市立甲府病院 リハビリテーション科	400-0832 甲府市増坪町 366	Tel (055)244-1111 Fax (055)220-2650
一宮温泉病院 リハビリテーション部	405-0077 笛吹市一宮町坪井 1745	Tel (0553)47-3131 Fax (0553)47-3434	ツル虎ノ門外科・ リハビリテーション病院 リハビリテーション科	402-0005 都留市四日市場 188	Tel (0554)45-8861 Fax (0554)45-8876
今村耳鼻咽喉科 めまい・難聴クリニック	400-0124 甲斐市中下条 868	Tel (055)277-8741	笛吹中央病院 リハビリテーション科	406-0032 笛吹市石和町 四日市場 47-1	Tel (055)262-2185 Fax (055)262-5985
春日居サイバーナイフ・ リハビリ病院 言語療法科	406-0014 笛吹市春日居町国府 436	Tel (0553)26-4126 Fax (0553)26-4366	富士温泉病院	406-0004 笛吹市春日居町 小松 1177	Tel (0553)26-3331 Fax (0553)26-3574
恵信甲府病院 リハビリテーション科	400-0814 甲府市上阿原町 338-1	Tel (055)223-7333 Fax (055)223-7337	富士吉田市立病院 リハビリテーション技術科	403-0005 富士吉田市上吉田 6530	Tel (0555)22-4111 Fax (0555)22-6995
健康科学大学 リハビリテーションクリニック	401-0302 南都留郡富士河口湖町 小立 2487	Tel (0555)73-2800 Fax (0555)73-2844	山梨大学医学部付属病院	409-3898 中央市下河東 1110	Tel (0552)73-1111 Fax (0552)87-7356
甲州リハビリテーション病院 病棟部 リハビリテーション室	406-0032 笛吹市石和町 四日市場 2031	Tel (055)262-3121 Fax (055)262-3727	山梨福祉総研	400-0117 甲斐市西八幡 903	Tel (055)279-2510 Fax (055)279-2819
甲府共立診療所 小児リハ	400-0034 甲府市市 1-10-5	Tel (055)221-1000 Fax (055)221-1011	山梨リハビリテーション病院 言語療法課	406-0004 笛吹市春日居町小松 855	Tel (0553)26-3030 Fax (0553)26-4569
甲府共立病院 リハビリテーション室	400-0034 甲府市市 1-9-1	Tel (055)226-3131 Fax (055)226-9715	湯村温泉病院 リハビリテーション科	400-0073 甲府市湯村 3-3-4	Tel (055)251-6111 Fax (055)251-3579
甲府城南病院 リハビリテーション部	400-0831 甲府市上町 753-1	Tel (055)241-5811 Fax (055)241-8660	りほく病院	407-0106 甲斐市岩森 1111	Tel (0551)28-8820 Fax (0551)28-8830
甲府脳神経外科病院 言語療法室	400-0805 甲府市酒折 1-16-18	Tel (055)235-0995 Fax (055)226-9521	竜王リハビリテーション病院 言語聴覚室	400-0114 甲斐市万才 287	Tel (055)276-1155 Fax (055)279-1262
国立病院機構甲府病院 リハビリテーション科	400-8533 甲府市天神町 11-35	Tel (055)253-6131 Fax (055)251-5597			

## 教育関係(3 施設)

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
甲府市立善誘館小学校 ことばの教室	400-0862 甲府市朝気 1-2-52	Tel (055)232-3963 Fax (055)232-2403	山梨県立あけぼの支援学校	407-0046 韮崎市旭町 上条南割 3251-1	Tel(0551)22-6131 Fax(0551)22-6628
田中美郷教育研究所 ノーサイドクリニック甲府	400-0858 甲府市相生 1-3-16 まごころ補聴器内	Tel (055)233-9286 Fax (055)233-9266			

## 編集後記

新年度を迎え、会報編集部も新たなメンバーを迎えてスタートを切りました。

新旧メンバーの引継ぎは、緊張した面持ちの新人組と、寂しさを隠し、明るく振舞う卒業組とのやり取りが、ぎこちなくも和やかに行なわれました。

今回の県土会 NEWS にはおなじみの企画に加え、新たな企画が掲載されています。新しいものを生み出す事の難しさと感じ、この企画が次号以降も皆様にとって楽しい記事の一つとして連載されるものになればと思っています。

本年度も新しいメンバーにより、より充実した県土会 NEWS が発行されることと思いますので、皆様ぜひご期待ください！

メンバー：

山梨県言語聴覚士会ニュース

〈発行所〉 山梨県言語聴覚士会

〈発行人〉 内山 量史

〈編集〉 山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集部

甲州リハビリテーション病院 石原 徳子・赤池 絢

石和温泉病院 高橋 正和・坂井 隆一

石和共立病院 小池 和樹

一宮温泉病院 杉山 達也・倉島 雪乃

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 外間 玲香

甲府共立診療所 宮里 なつき

甲府共立病院 山崎 結

甲府城南病院 廣瀬 由紀・脇坂 英寿

市立甲府病院 丸井 章子

湯村温泉病院 千田 亜也子

〈事務局〉 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内

〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府 436

TEL:0553(26)4126 FAX:0553(26)4366

〈発行日〉2013年6月30日 第26刊